

炊き出し奉仕500回

県内NPO 協力者に記念品

NPO法人やまなしライフサポート(中山八十司理事長)が行っている炊き出しが27日、500回目を迎えた。中山理事長から記念品が贈られた。



炊き出しに訪れた人や調理ボランティアから計約80人が出席。中山理事長は「多くの人たちの協力でこまめ続けることができました。今後も心を

炊き出しを準備するボランティア甲府市中央2丁目の甲府カトリック教会

つなげる場所として、より良い活動をしたい」と感謝の言葉を述べ、代表者に記念品のハンカチを手渡した。

式の後には炊き出しが行われ、利用者のアンケートで希望が最も多かったカツカレーのほか、ギョーザ、サラダ、ゆで卵、チョコレートなどが

振る舞われた。9年以上炊き出しに訪れているという甲府市の男性(53)は「おなかを満たしてくるだけでなく、会話で心も軽くなる。今後も続けてほしい」と笑顔で話した。

調理ボランティアを代表して記念品を受け取った甲府市和戸町の雨宮絹枝さん(63)は

「今後も訪れた人の孤独や不安に寄り添った活動をしていきたい」と話した。

炊き出しはリーマン・ショックが起きた2008年にスタート。毎週木曜日に甲府市中央2丁目の甲府カトリック教会で行っている。

〈山本就己〉